

## 読売新聞 きょう（9月29日）のイチ押し

### 1・社会・運動面 ラグビーW杯 日本金星 強豪アイルランド破る

ラグビー・ワールドカップ（W杯）は、日本代表が、グループ最強のアイルランドと対戦し、逆転で勝利を収めました。前回大会の南アフリカ撃破に次ぐ<奇跡>の再現です。相手は、この日までの世界ランキング2位の優勝候補の一角です。先制されたものの、田村選手のPGで徐々に追い上げ、後半に逆転し、アイルランドの猛攻をしのぎました。目標とする初の8強入りへ前進しました。

- ★ 勝因のひとつとなったタックルの成功率は93%で、アイルランドの88%を上回りました。2月からの合宿では、実践練習を40分以上続けるなどして鍛えた「世界一の体力」が武器となりました。
- ★ この試合の結果、日本は世界ランキングを一つ上げて8位となり、スコットランドが入れ替わりに9位となりました。アイルランドは4位に後退しました。

### 1・社会面 関電金品受領問題 関電、取締役会に報告せず

関西電力幹部ら20人が、原発が立地する福井県高浜町の元助役から多額の金品を受けていた問題で、関電は社内調査の結果や処分を取締役会で報告していませんでした。経営体質が問われることになりそうです。

- ★ 元助役は、3億円の提供を受けた建設会社の「顧問」を名乗っており、同社の売上高は2013年以降、約6倍になっていました。また、別の原発関連会社2社の役員なども務めていました。
- ★ 関電の八木会長は、自らが金品を受けたのは、原子力事業の担当役員を務めていた2006～10年だったと明かしました。岩根社長が発表した時期より前から金品の受領があったこととなります。

#### 他紙と比べて

読売新聞が毎月連載している「減災」のページでは、防災情報の入手手段として、乾電池ラジオを見直しています。関東地方を直撃した台風15号による停電被害の影響の広がりからの教訓です。